

#### e-11) クロシジミ

本種は、平成 12 年度の環境巡視において、22 個体の成虫と、周辺のクリ及びアレチマツヨイグサに産着された多数の卵が確認された。確認地点付近では工事が計画されており、生息地が改変される予定であった。このため、工事計画を変更して生息地の改変を回避するとともに、産卵木を植栽して再生産の場を整備する保全措置を実施した。また、平成 13 年度～15 年度に本保全区域における生息状況の監視を実施しており、成虫、幼虫及び卵が確認された。

この他、平成 15 年度の調査において、保全区域以外の 2 地点で成虫が 2 個体確認された。

本種の成虫はカシワの疎林、クヌギ、コナラ、アベマキ等がまばらに自生する林に多く生息する<sup>40)</sup>。3 齢になってクロオオアリにくわえられてアリの巣にはいる<sup>40)</sup>。巢中で蛹化し、地上にはい出て羽化する<sup>40)</sup>。

生態情報及び確認状況から、本種は、クロオオアリの巣と産卵木(クリ等)の存在が再生産の要件と考えられ、これらの要件が整った環境に局地的に生息すると考えられる。

なお、確認位置については、重要な種の保全の観点から示していない。

#### i) 直接改変

##### 【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

##### ・生息地の消失又は改変

平成 15 年度に本種が確認された 2 地点のうち、1 地点は対象事業の実施による改変部の範囲に位置しないが、1 地点は貯水池の出現により消失する。

このことから、本種の生息状況が変化する可能性がある。

#### ii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられる。

本種が確認された地点の一部は、対象事業の実施による貯水池の出現により

消失する。

なお、平成 12 年度に確認された生息地は、工事計画の変更により改変を回避し、産卵木の植栽等による保全措置を実施しており、その後の生息状況を監視している。

#### e-12) オオウラギンスジヒョウモン

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図 4.1.5-13(10)に示す。

本種は、藤瀬地区の藤瀬集落南西の山間部 1 地点、大串地区の上古賀集落周辺 2 地点、大野地区の音無周辺 2 地点、関屋地区の東畑瀬集落南東の林道沿い 1 地点、畑瀬地区の西畑瀬集落南西の山間部 1 地点、西畑瀬集落南の沢 1 地点、古湯地区の淀姫神社北の谷沿い 1 地点、神水川の小ヶ倉橋付近 1 地点、浦川の松野集落北側周辺 1 地点、大串川の馬場集落周辺 1 地点、栗並川の山上第一橋付近 1 地点、合計 13 地点で生息が確認された。また、詳細な位置情報等の記録がないが、馬場野周辺において記録がある。

本種の成虫は陽当りのよい草原や樹林周辺の草地に多く生息し、活発に飛翔してオカトラノオ、アザミ類、ノリウツギ、ミヤマイボタ等多くの花で吸蜜し、雄は崖等の湧水地で吸水することもある<sup>40)</sup>。

生態情報及び確認状況から、本種は、主に明るい樹林、耕作地及び草地に生息すると考えられる。

なお、本種の確認地点である畑瀬地区の西畑瀬集落南西の山間部 1 地点及び本種の生息環境である明るい樹林、耕作地及び草地の一部は、既に工事用道路の設置、道路の付替及び代替地の造成の工事により改変されている。

#### i) 直接改変

##### 【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

##### ・生息地の消失又は改変

本種が確認された地点のうち、藤瀬地区の藤瀬集落南西の山間部 1 地点、大串地区の上古賀集落周辺 2 地点、畑瀬地区の西畑瀬集落南の沢 1 地点、古湯地

区の淀姫神社北の谷沿い1地点、浦川の松野集落北側周辺1地点、栗並川の山上第一橋付近1地点、合計7地点は、対象事業の実施による改変部の範囲に位置しない。

一方、大野地区の音無周辺2地点、関屋地区の東畑瀬集落南東の林道沿い1地点、神水川の小ヶ倉橋付近1地点、大串川の馬場集落周辺1地点、合計5地点と、馬場野周辺の一部は、建設発生土の処理、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である明るい樹林、耕作地及び草地は、一部がダムの堤体、副ダムの堤体、施工設備及び工事用道路の設置、建設発生土の処理、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、ダムの堤体、副ダムの堤体、土捨場の跡地、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

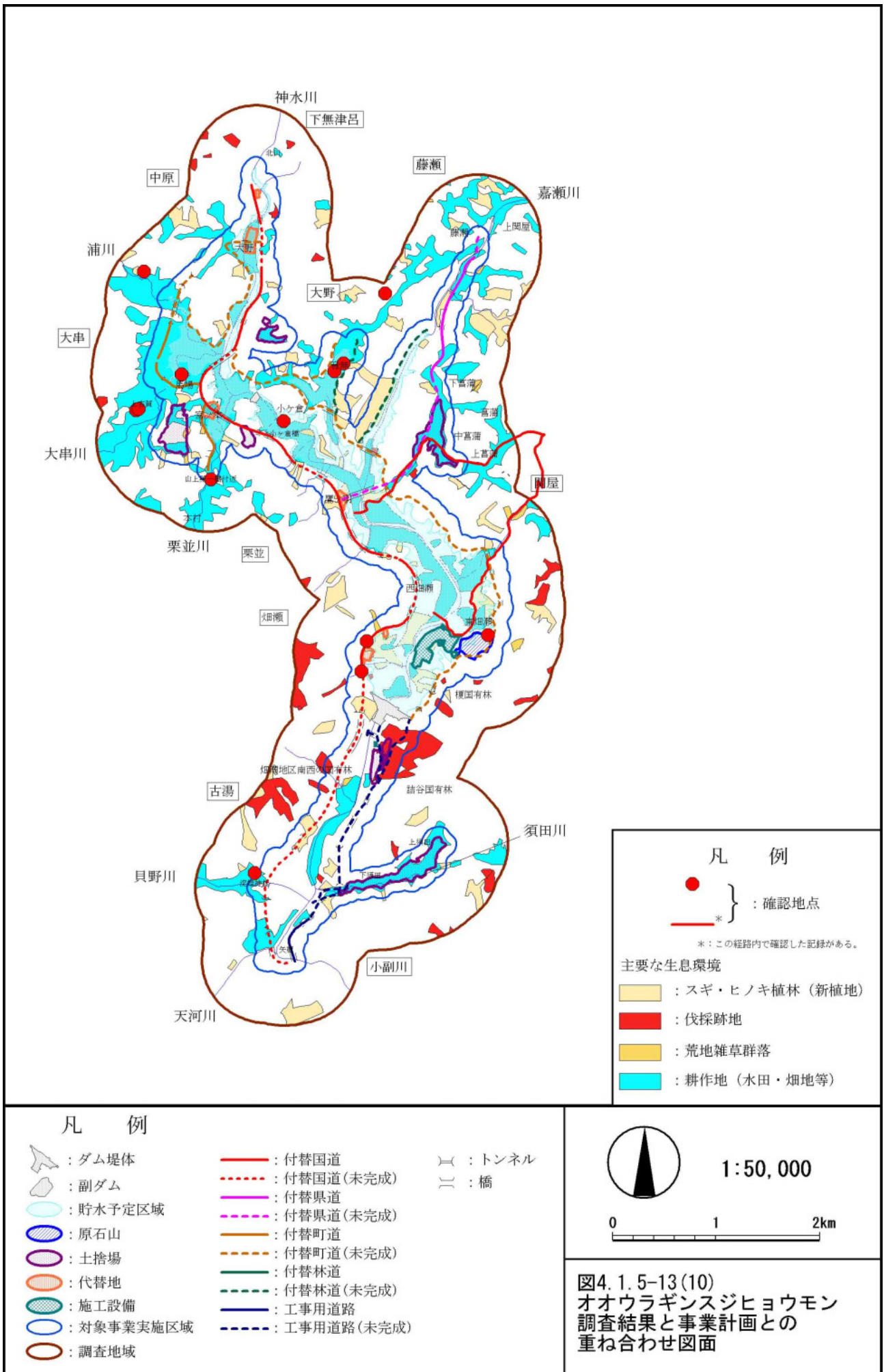
しかし、調査地域周辺には消失する生息環境と同様の明るい樹林、耕作地及び草地が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。

## ii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいと考えられる。

本種の生息環境である明るい樹林、耕作地及び草地の一部は、対象事業の実施によるダムの堤体等の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、調査地域周辺には本種の生息環境である明るい樹林、耕作地及び草地が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。



#### e-13) オナガアゲハ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(11)に示す。

本種は、藤瀬地区の藤瀬集落南西の山間部 2 地点、関屋地区の中菖蒲集落周辺 1 地点、上菖蒲集落周辺 1 地点、栗並地区の鷹ノ羽集落南西の山間部 2 地点、小副川地区の須田集落東の砂防ダム周辺 1 地点、嘉瀬川の新小関橋上流 1 地点、畑瀬橋付近 1 地点、神水川の北川橋上流 1 地点、中原橋付近 1 地点、小ヶ倉橋付近 1 地点、合計 12 地点で生息が確認された。

本種の成虫は暖地では平地よりも低山地の溪流沿いや樹林の周辺に好んで生活する<sup>40)</sup>。

生態情報及び確認状況から、本種は、主に嘉瀬川の上流部及び支川沿いの樹林に生息すると考えられる。

なお、本種の確認地点である神水川の中原橋付近 1 地点は、既に道路の付替の工事により改変されている。

#### i) 直接改変

##### 【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

##### ・生息地の消失又は改変

本種が確認された地点のうち、藤瀬地区の藤瀬集落南西の山間部 2 地点、関屋地区の中菖蒲集落周辺 1 地点、上菖蒲集落周辺 1 地点、栗並地区の鷹ノ羽集落南西の山間部 2 地点、小副川地区の須田集落東の砂防ダム周辺 1 地点、嘉瀬川の新小関橋上流 1 地点、神水川の北川橋上流 1 地点、合計 9 地点は、対象事業の実施による改変部の範囲に位置しない。

一方、嘉瀬川の畑瀬橋付近 1 地点、神水川の小ヶ倉橋付近 1 地点、合計 2 地点は、貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である嘉瀬川の上流部及び支川沿いの樹林は、一部が対象事業の実施により消失する。

しかし、本種の生息環境である嘉瀬川の上流部及び支川沿いの樹林が残存す

ることから、本種の生息は維持され则认为られる。

## ii) 直接改变以外

### 【土地又は工作物の存在及び供用】

#### ・土地又は工作物付近の環境の変化による生息環境の変化

本種が確認された関屋地区の中菖蒲集落周辺 1 地点は、直接改变以外の影響を受ける可能性のある改变部から 50m の範囲に位置し、生息環境として適さなくなる可能性がある。

また、対象事業の実施に伴う改变部付近では、本種の主な生息環境である嘉瀬川の上流部及び支川沿いの樹林の一部が变化する可能性があり、本種の生息環境として適さなくなる可能性がある。

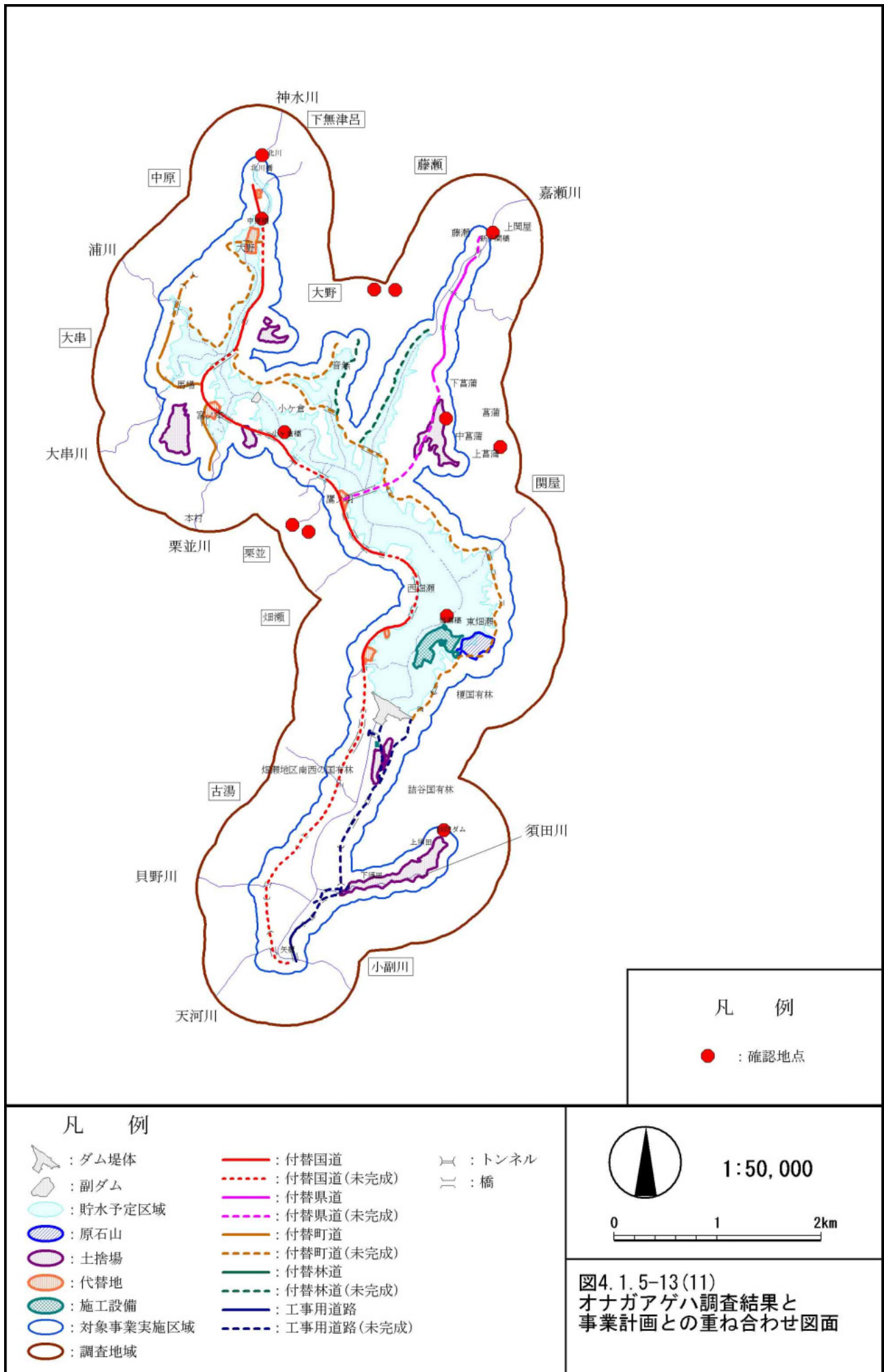
しかし、確認地点付近には变化が想定される生息環境と同様の樹林が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。

## iii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改变による生息地の消失又は改变及び直接改变以外の影響を受けると认为られるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいと认为られる。

本種の生息環境である嘉瀬川の上流部及び支川沿いの樹林の一部は、対象事業の実施により消失し、改变部付近は環境の変化が予測される。

しかし、本種の生息環境である嘉瀬川の上流部及び支川沿いの樹林が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。



e-14) ウラナミジャノメ

本種については、詳細な位置情報等の記録がないが、平成8年度夏季の環境巡視において、西畑瀬周辺で数個体が確認された記録がある。

本種の成虫は明るい疎林や路傍、乾性草原に多く、飛翔は緩やかでオカトラノオ等の花に飛来することもある<sup>40)</sup>。幼虫の食草はメヒシバ、チヂミザサ、アシボソ等<sup>39)</sup>である。

生態情報から、本種は、主に乾性草地に生息すると考えられる。

なお、本種の生息環境である乾性草地の一部は、既に道路の付替の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種の主な生息環境である乾性草地は、一部が施工設備及び工用道路の設置、建設発生土の処理、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、土捨場の跡地、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、調査地域周辺には消失する生息環境と同様の乾性草地が残存することから、本種の生息は維持されると考えられる。

ii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいと考えられる。

本種の生息環境である乾性草地の一部は、対象事業の実施による建設発生土の処理等の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、調査地域周辺には本種の生息環境である乾性草地が残存することから、本種の生息は維持されると考えられる。



#### e-15) エゾヨツメ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(12)に示す。

本種は、平成6年度の調査において、大野地区の大野集落東の山間部1地点で、ライトトラップにより生息が確認された。

本種は、山地や冷温帯落葉樹林に見られる<sup>43)</sup>。幼虫の食草はカバノキ、ハンノキ、ブナ、クリ、コナラ及びカシワ<sup>42)</sup>である。また、専門家から、本種は九州において標高500m以上の山地帯ではよく見られるが、コナラ等の落葉樹が広く分布し、周りに高い山がある地域では、かなり低い標高でもみられるという情報を得た。

これらのことから、本種は、当該地域において落葉広葉樹林に生息すると考えられる。

なお、本種の生息環境である落葉広葉樹林の一部は、既に工事用道路の設置及び道路の付替の工事により改変されている。

#### i) 直接改変

##### 【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

##### ・生息地の消失又は改変

本種が確認された大野地区の大野集落東の山間部1地点は、対象事業の実施による改変部の範囲に位置しない。

一方、本種の主な生息環境である落葉広葉樹林は、一部が施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、調査地域周辺には消失する生息環境と同様の落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。

ii) 直接改変以外

【土地又は工作物の存在及び供用】

- ・土地又は工作物付近の環境の変化による生息環境の変化

本種が確認された大野地区の大野集落東の山間部 1 地点は、直接改変以外の影響を受ける可能性のある改変部から 50m の範囲に位置しない。

一方、対象事業の実施に伴う改変部周辺では、本種の主な生息環境である落葉広葉樹林の一部は変化する可能性があり、本種の生息環境として適さなくなる可能性がある。

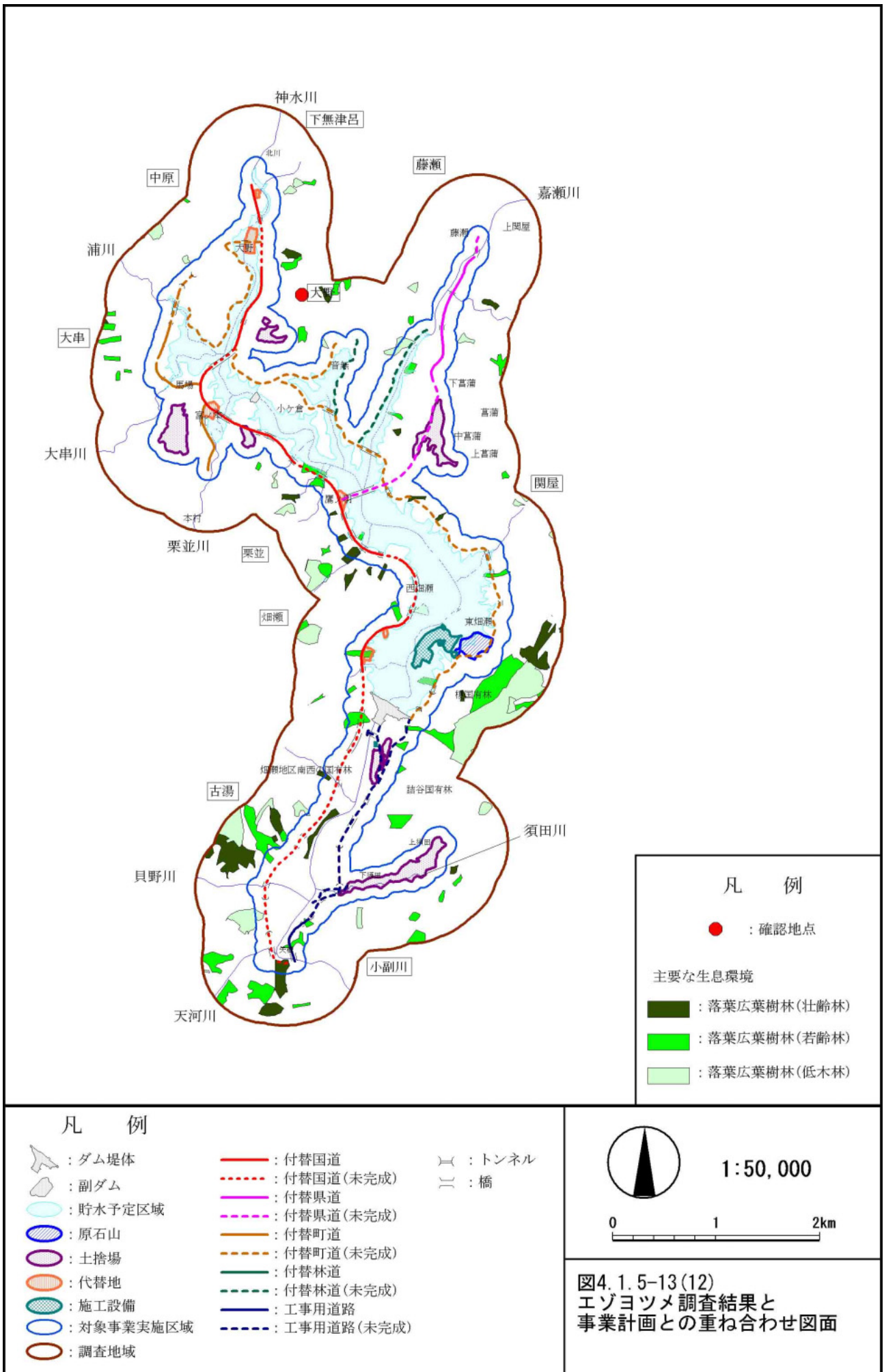
しかし、調査地域周辺には変化が想定される生息環境と同様の落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。

iii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいとされる。

本種の生息環境である落葉広葉樹林の一部は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失し、改変部付近は環境の変化が予測される。

しかし、調査地域周辺には本種の生息環境である落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。



#### e-16) エゾシモフリスズメ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(13)に示す。

本種は、大野地区の大野集落東の山間部1地点で、ライトトラップにより生息が確認された。

本種は、本州中部以南では山地に産する<sup>42)</sup>。幼虫はドロヤナギ、ホオノキの葉を食う<sup>42)</sup>。

生態情報から、本種は、主に常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林に生息すると考えられる。

なお、本種の生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林の一部は、既に工事用道路の設置、道路の付替及び代替地の造成の工事により改変されている。

#### i) 直接改変

##### 【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

##### ・生息地の消失又は改変

本種が確認された大野地区の大野集落東の山間部1地点は、対象事業の実施による改変部の範囲に位置しない。

一方、本種の主な生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林は、一部が施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、調査地域周辺には消失する生息環境と同様の常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持されると考えられる。

ii) 直接改変以外

【土地又は工作物の存在及び供用】

- ・土地又は工作物付近の環境の変化による生息環境の変化

本種が確認された大野地区の大野集落東の山間部 1 地点は、直接改変以外の影響を受ける可能性のある改変部から 50m の範囲に位置しない。

一方、対象事業の実施に伴う改変部周辺では、本種の子な生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林の一部は変化する可能性があり、本種の生息環境として適さなくなる可能性がある。

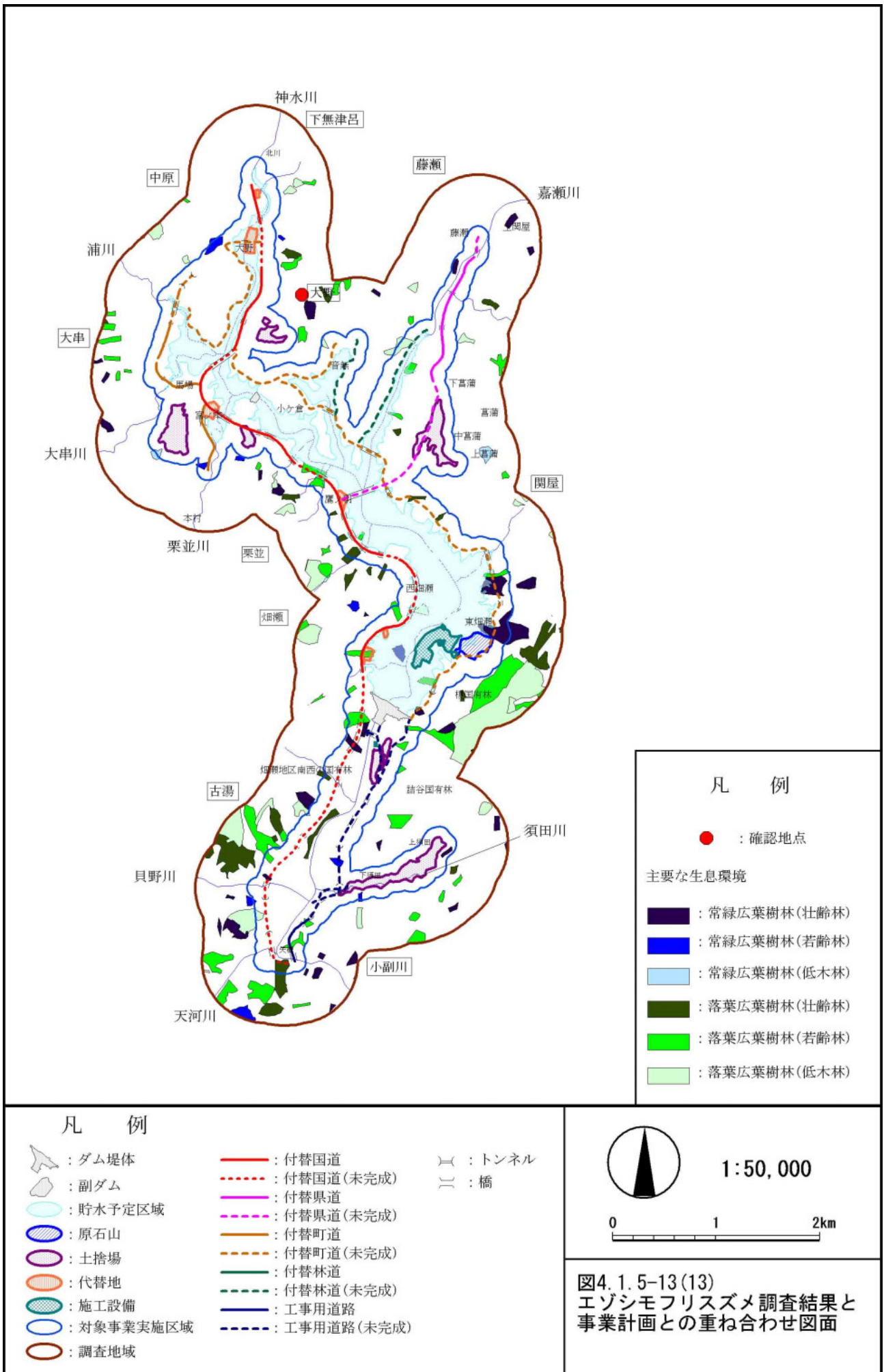
しかし、調査地域周辺には変化が想定される生息環境と同様の常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持されると考えられる。

iii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいと考えられる。

本種の生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林の一部は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失し、改変部付近は環境の変化が予測される。

しかし、調査地域周辺には本種の生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持されると考えられる。



e-17) ヒゴキンウワバ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(14)に示す。

本種は、嘉瀬川の川上川第二ダム下流1地点で、スギ・ヒノキ植林内で行ったライトトラップにより生息が確認された。また、文献<sup>46)</sup>において畑瀬で確認された記録がある。

本種は、6月～9月に出現<sup>44)</sup>し、自然林の周囲の二次林に生息する<sup>45)</sup>。

生態情報から、本種は、当該地域において、常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林に生息すると考えられる。

なお、本種の生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林の一部は、既に工事用道路の設置、道路の付替及び代替地の造成の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された嘉瀬川の川上川第二ダム下流1地点は、貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林は、一部が施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、調査地域周辺には消失する生息環境と同様の常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持されると考えられる。

ii) 直接改変以外

【土地又は工作物の存在及び供用】

・土地又は工作物付近の環境の変化による生息環境の変化

対象事業の実施に伴う改変部周辺では、本種の主な生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林の一部は変化する可能性があり、本種の生息環境として適さなくなる可能性がある。

しかし、調査地域周辺には変化が想定される生息環境と同様の常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。

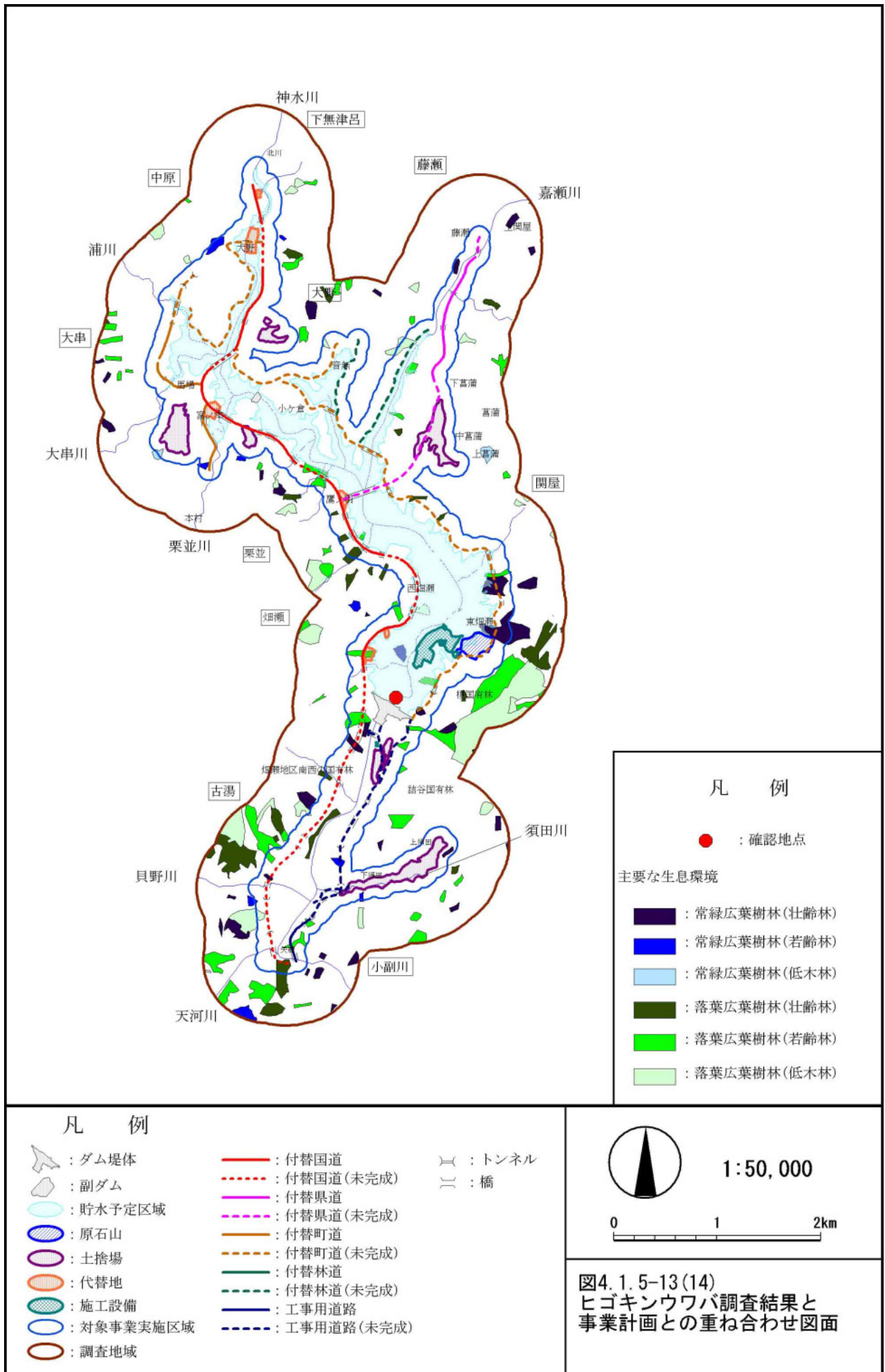
iii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいとされる。

本種の生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林の一部は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失し、改変部付近は環境の変化が予測される。

しかし、調査地域周辺には本種の生息環境である常緑広葉樹林及び落葉広葉樹林が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。





e-18) ナカオビキリガ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(15)に示す。

本種は、大野地区の大野集落東の山間部2地点で、ライトトラップにより生息が確認された。

本種は、10月～11月、平地、低山地に出現する<sup>39)</sup>。

生態情報及び確認状況から、本種は、当該地域に希に生息すると考えられる。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された大野地区の大野集落東の山間部2地点は、対象事業の実施による改変部の範囲に位置しない。

一方、本種の生息環境は、一部がダムの堤体、原石の採取、建設発生土の処理、施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替、副ダムの堤体の工事及び貯水池の出現により消失する。

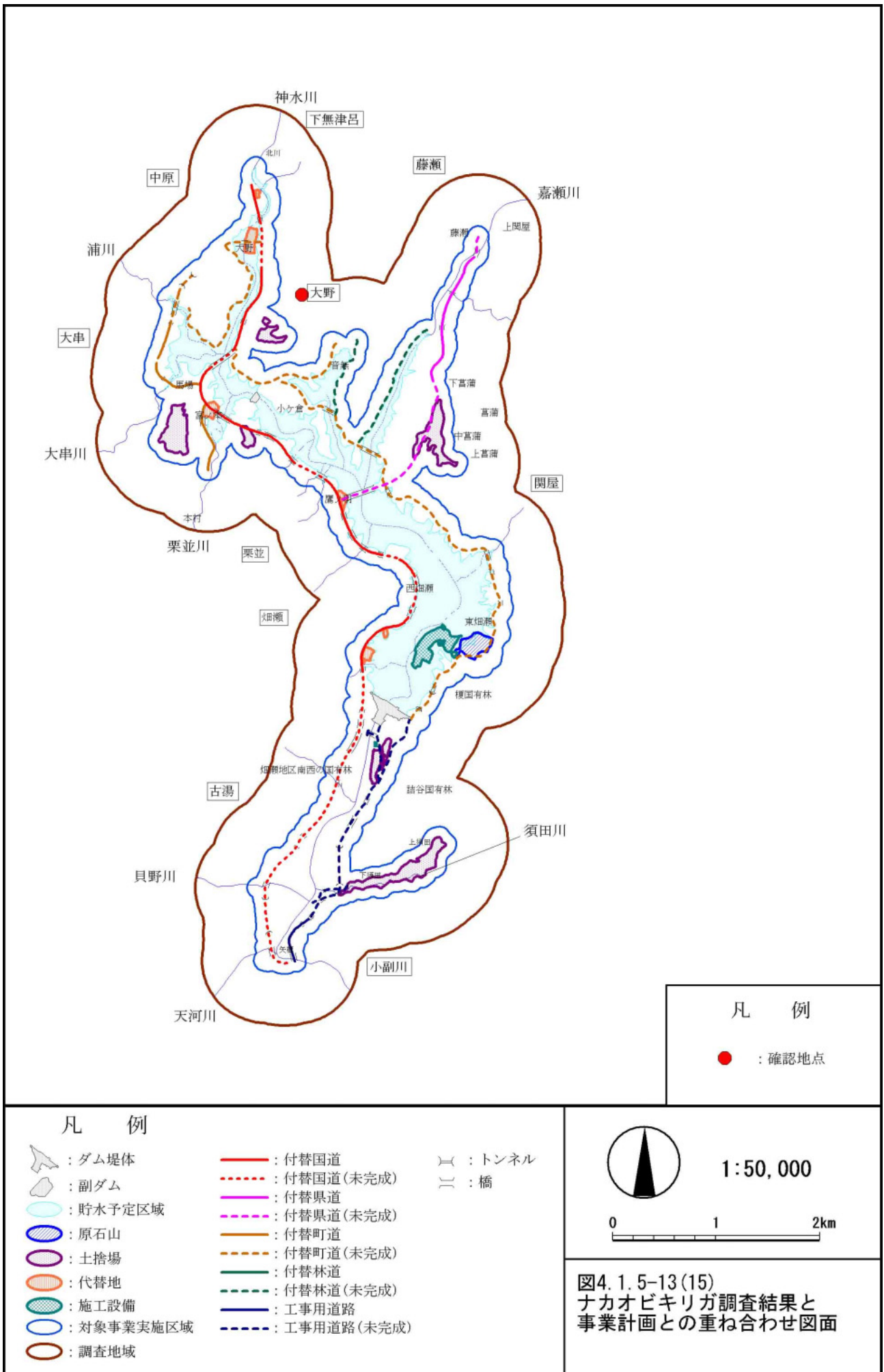
このことから、ダムの堤体、原石山の跡地、土捨場の跡地、道路、副ダムの堤体及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境に適さなくなると予測される。

ii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいと考えられる。

本種の生息環境の一部は、対象事業の実施によるダムの堤体等の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、調査地域周辺には本種の生息環境と同様の環境が広く分布することから、本種の生息は維持されると考えられる。



e-19) キアシマルガタゴミムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(16)に示す。

本種については、詳細な位置情報等の記録がないが、東畑瀬集落南周辺において記録がある。

本種は、水辺の石下や土中に生息している<sup>48)</sup>。

生態情報及び確認状況から、本種は、当該地域において、嘉瀬川の河原に局地的に生息すると考えられる。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺の一部は、既に道路の付替の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・ 生息地の消失又は改変

本種が確認された東畑瀬集落南周辺の河原は、施工設備及び工事用道路の設置の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境に適さなくなると予測され、本種の生息状況が変化する可能性がある。

ii) 直接改変以外

本種が確認された東畑瀬集落南周辺の河原は、直接改変の影響により消失すると予測されることから、直接改変以外の影響は検討しない。

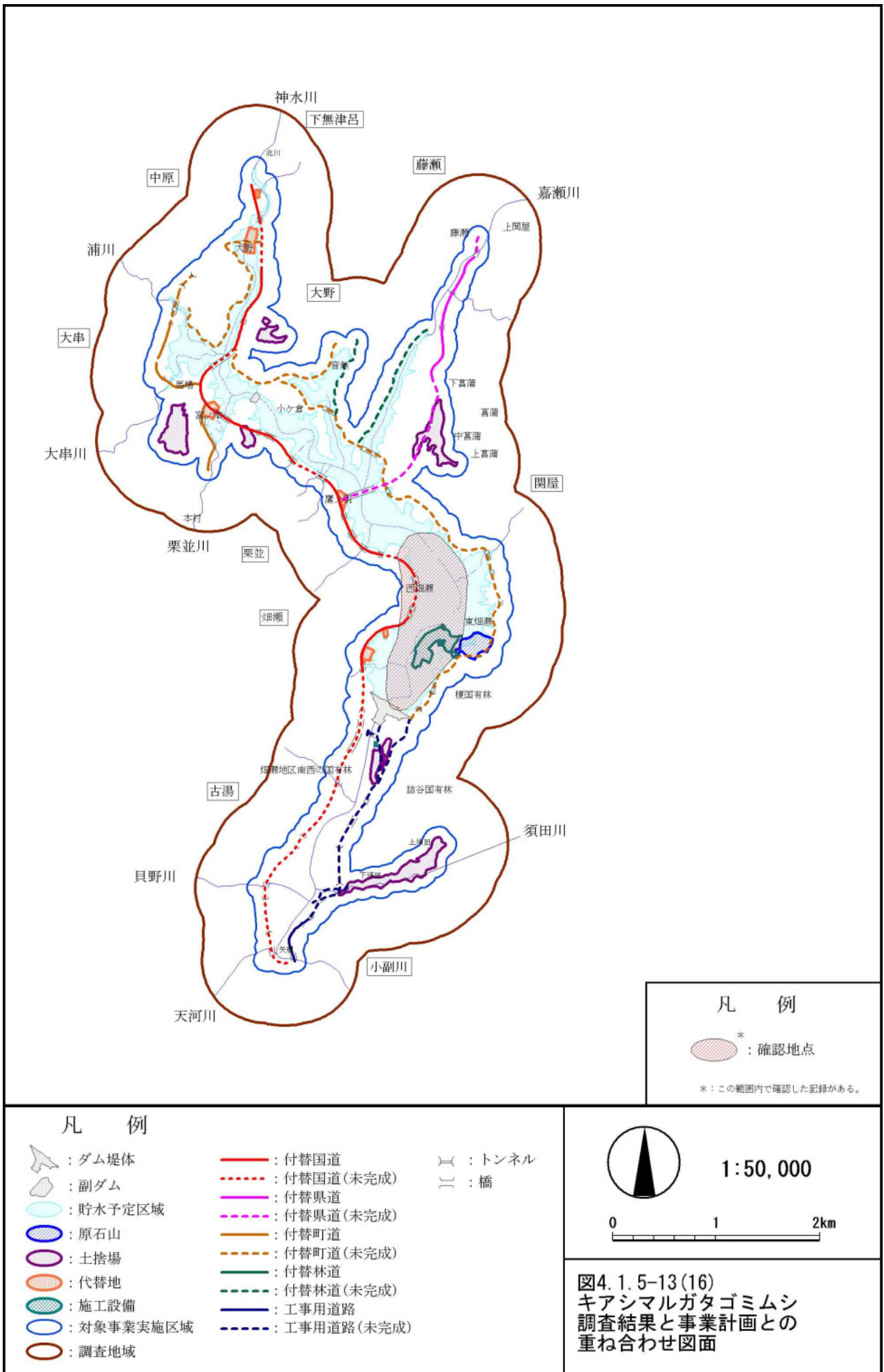
iii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられる。

本種が確認された生息地周辺の河原は、対象事業の実施による施工設備及び工事用道路の設置の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、影響予測に必要な情報が十分に得られておらず、予測結果に不確実

性が伴うと考えられる。このため、今後の調査により情報を蓄積して再予測を行い、必要に応じて移植、生息環境の整備等の保全措置を検討していく。



e-20) クロヒゲアオゴミムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(17)に示す。

本種については、詳細な位置情報等の記録がないが、東畑瀬集落南周辺において記録がある。

やや山地の河原に生息する<sup>47)</sup>。山地の溪流の汀で石の下にすむ<sup>48)</sup>。

生態情報及び確認状況から、本種は、山地の河原に局地的に生息すると考えられる。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺の一部は、既に道路の付替の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された東畑瀬集落南周辺の河原は、施工設備及び工事用道路の設置の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境に適さなくなると予測され、本種の生息状況が変化する可能性がある。

ii) 直接改変以外

本種が確認された東畑瀬集落南周辺の河原は、直接改変の影響により消失すると予測されることから、直接改変以外の影響は検討しない。

iii) まとめ

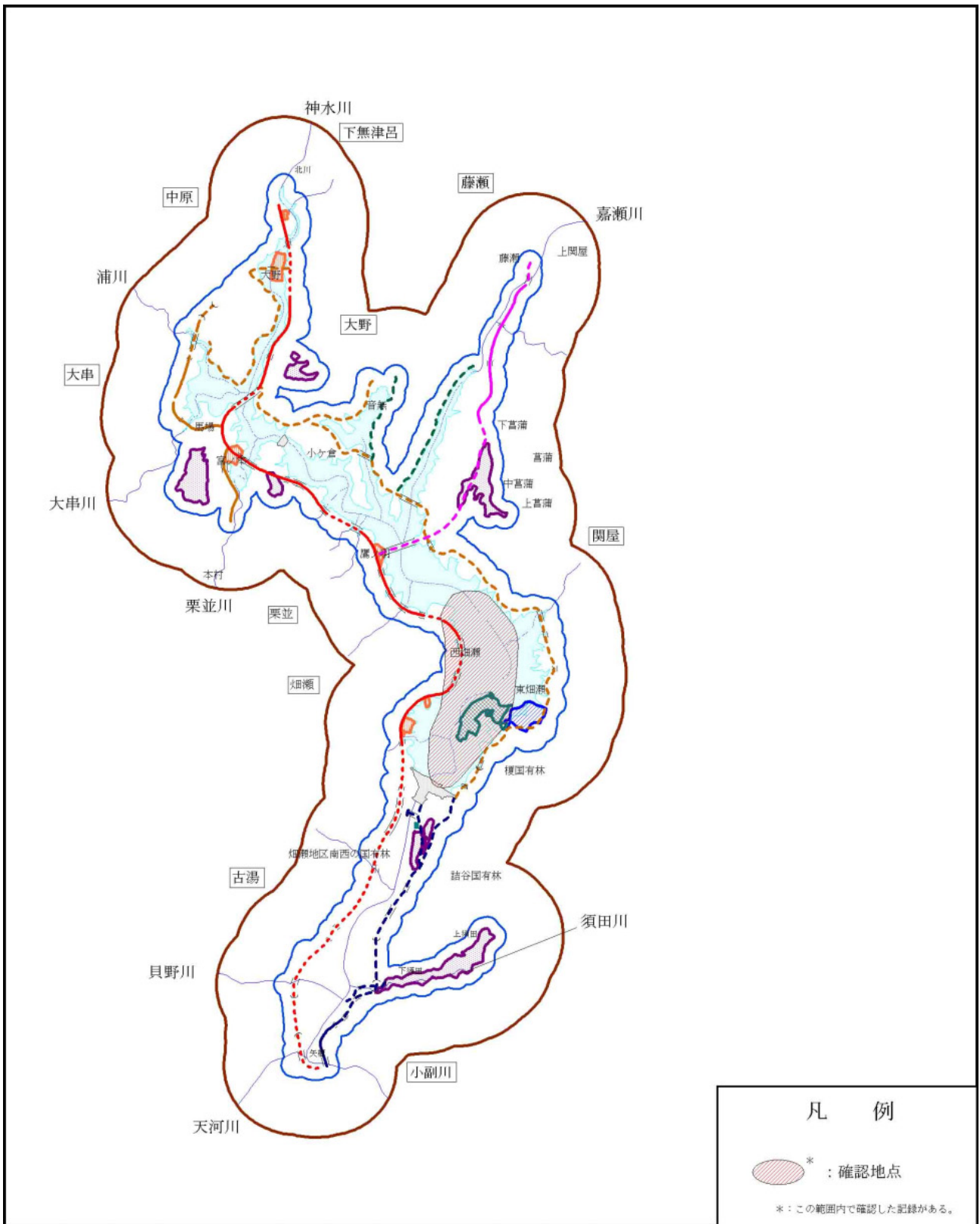
本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられる。

本種が確認された生息地周辺の河原は、対象事業の実施による施工設備及び工事用道路の設置の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、影響予測に必要な情報が十分に得られておらず、予測結果に不確実

性が伴うと考えられる。このため、今後の調査により情報を蓄積して再予測を行い、必要に応じて移植、生息環境の整備等の保全措置を検討していく。





凡 例

\* : 確認地点

\* : この範囲内で確認した記録がある。

凡 例

: ダム堤体	: 付替国道	: トンネル
: 副ダム	: 付替国道(未完成)	: 橋
: 貯水予定区域	: 付替県道	
: 原石山	: 付替県道(未完成)	
: 土捨場	: 付替町道	
: 代替地	: 付替町道(未完成)	
: 施工設備	: 付替林道	
: 対象事業実施区域	: 付替林道(未完成)	
: 調査地域	: 工事用道路	
	: 工事用道路(未完成)	

1:50,000

0 1 2km

図4.1.5-13(17)  
クロヒゲアオゴミムシ  
調査結果と事業計画との  
重ね合わせ図面

e-21) トゲアシゴモクムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(18)に示す。

本種は、大野地区の音無周辺1地点、嘉瀬川の畑瀬橋付近1地点、合計2地点で生息が確認された。

本種の生息環境については、生態情報が得られなかったため、不明である。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された大野地区の音無周辺1地点、嘉瀬川の畑瀬橋付近1地点、合計2地点は、貯水池の出現により消失する。

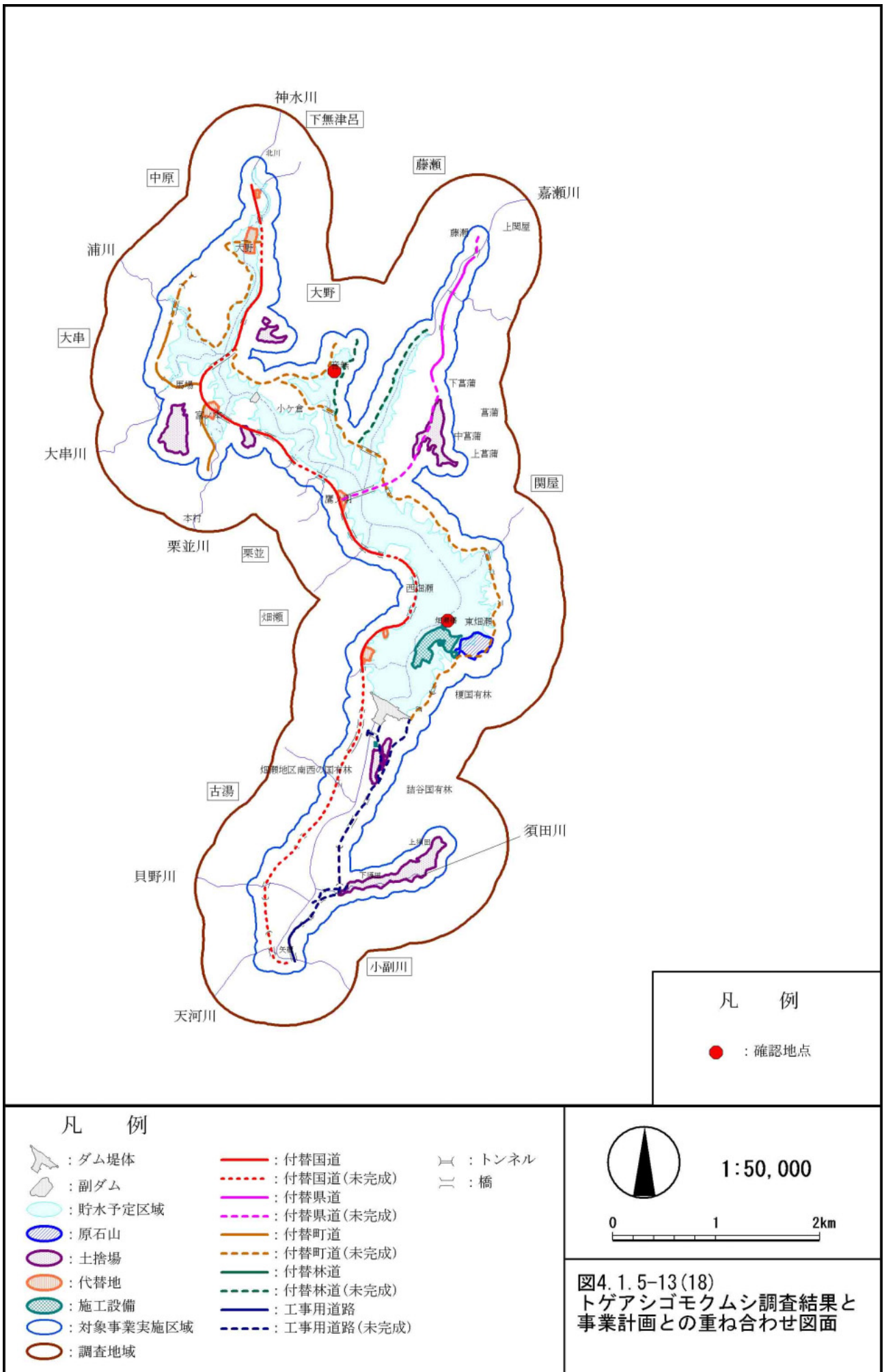
このことから、本種の生息状況が変化する可能性がある。

ii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられる。

本種が確認された地点は、対象事業の実施による貯水池の出現により消失する。

しかし、影響予測に必要な情報が十分に得られておらず、予測結果に不確実性が伴うと考えられる。このため、今後の調査により情報を蓄積して再予測を行い、必要に応じて移植、生息環境の整備等の保全措置を検討していく。



e-22) アイヌハンミョウ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(19)に示す。

本種は、栗並地区の鷹ノ羽集落南西の山間部1地点、嘉瀬川の川上川第三ダム下流1地点、畑瀬橋付近2地点、川上川第二ダム下流2地点、神水川の小ヶ倉橋付近1地点、合計7地点で生息が確認された。また、詳細な位置情報等の記録がないが、東畑瀬集落南周辺及び鷹ノ羽集落周辺において記録がある。このほか、文献<sup>50)</sup>においては畑瀬で確認された記録がある。

本種は、河原に近い所で局地的に見られる<sup>47)</sup>。砂質の地面にすみ、川原の近く等に見られるが、各地での生息場所は比較的限られている<sup>49)</sup>。

生態情報及び確認状況から、本種は、当該地域において、確認地点付近の河原、支川や沢筋の砂地に局地的に生息すると考えられる。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺及び鷹ノ羽集落周辺の一部及び本種の生息環境である確認地点付近の河原、支川や沢筋の砂地の一部は、既に道路の付替及び代替地の造成の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された地点のうち、栗並地区の鷹ノ羽集落南西の山間部1地点、嘉瀬川の川上川第二ダム下流1地点、合計2地点は、対象事業の実施による改変部の範囲に位置しない。

一方、嘉瀬川の川上川第三ダム下流1地点、畑瀬橋付近2地点、川上川第二ダム下流1地点、神水川の小ヶ倉橋付近1地点、合計5地点と、東畑瀬集落南周辺及び鷹ノ羽集落周辺の一部は、ダムの堤体、施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である確認地点付近の河原、支川や沢筋の砂地は、大部分が副ダムの堤体、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから副ダムの堤体、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測され、本種の生息状況が変化する可能性がある。

ii) 直接改変以外

【土地又は工作物の存在及び供用】

・冠水頻度の変化

冠水頻度の変化により本種の生息環境である確認地点付近の河原、支川や沢筋の砂地が変化する可能性がある。

しかし、「4.1.7 生態系」における冠水頻度の変化の予測によると、ダム下流の河川敷での1/4確率以下の流況における冠水頻度は、現況と同様であると予測される。このことから、冠水頻度の変化による本種の生息環境である確認地点付近の河原、支川や沢筋の砂地の変化は小さいと予測される。

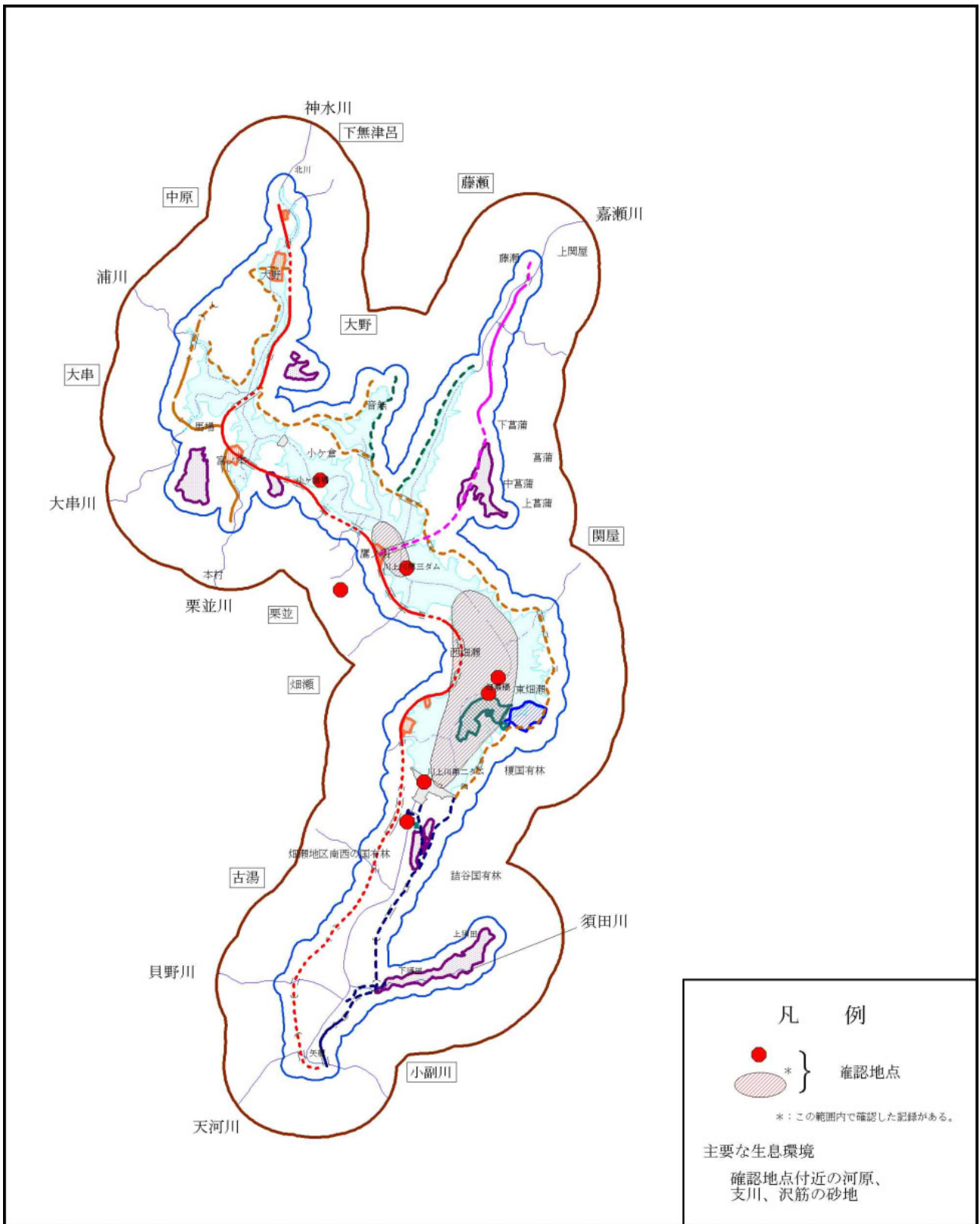
iii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられる。

本種の生息環境である確認地点付近の河原、支川や沢筋の砂地の大部分は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失する。

一方、土地又は工作物の存在及び供用に伴う冠水頻度の変化により、本種の生息環境が変化する程度は小さいと考えられる。

しかし、影響予測に必要な情報が十分に得られておらず、予測結果に不確実性が伴うと考えられる。このため、今後の調査により情報を蓄積して再予測を行い、必要に応じて移植、生息環境の整備等の保全措置を検討していく。



凡 例

● \* } 確認地点

\* : この範囲内で確認した記録がある。

主要な生息環境  
 確認地点付近の河原、  
 支川、沢筋の砂地

- 凡 例
- ☞ : ダム堤体
  - : 付替国道
  - ≡ : トンネル
  - ☞ : 副ダム
  - - - : 付替国道(未完成)
  - ≡ : 橋
  - ☞ : 貯水予定区域
  - : 付替県道
  - : 付替町道
  - : 付替町道(未完成)
  - ☞ : 原石山
  - : 付替県道(未完成)
  - : 付替林道
  - ☞ : 土捨場
  - : 付替町道(未完成)
  - : 付替林道(未完成)
  - ☞ : 代替地
  - : 付替町道(未完成)
  - : 工事用道路
  - ☞ : 施工設備
  - : 付替林道(未完成)
  - : 工事用道路(未完成)
  - ☞ : 対象事業実施区域
  - : 工事用道路(未完成)
  - ☞ : 調査地域

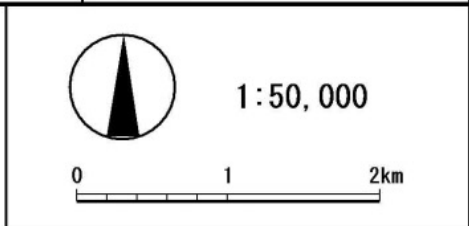


図4.1.5-13(19)  
 アイヌハンミョウ調査結果と  
 事業計画との重ね合わせ図面